

流山 九条ニュース

「九条の会・流山」事務局
石林 7154-7511 三原 7152-6559
山田 7144-3993



2017.3.1 NO.132

「九条の会・流山」HP：<http://www.nagareyama9.org/> メール：info@nagareyama9.org

憲法施行70年
2017流山憲法集会

5月14日(日)
流山市生涯学習センター



13:00開場

13:30開会

お話

森達也氏

日本国憲法の危機に直面して
……日本のジャーナリズムの
衰退と萎縮から考える

ドキュメンタリー映画監督、
テレビ・ドキュメンタリー・ディレクター、
ノンフィクション作家。 明治大学特任教授。

オウム真理教信者達の日常を追うドキュメンタリー
映画『A』、テレビドキュメンタリー『放送禁止歌』、
書籍『下山事件(シモヤマ・ケース)』など。

共謀罪を学習討議

2.26北部公民館で

「法案はまだ提案されていないのだから、国会は議論するな」と言わんばかりの金田法務大臣の暴言でも紛糾している共謀罪。

北部公民館で学習、討論を行いました。事務局から石林が問題点の概略を報告。参加者で討議しました。

「安倍内閣は戦争法や秘密保護法など次々に打ち出している。共謀罪など個々の学習も大事だが、この悪政にどう立ち向かうかが大切。」「GPSや防犯カメラなどで監視が強化されている」など感じている危機感が率直に話し合われました。

沖縄・新基地反対の署名を世話人にお寄せ下さい 第2次締切3月31日

「九条の会・流山」議会各会派へ 九条守るため協力申し入れ

2月22日世話人会の5名で市議会を訪問し各党・会派に九条を守るため、市民と野党の協力を訴える文書を届け、訴えて回りました。

アピールの内容は

- ①「九条の会・流山」は平和憲法を葬り去ろうとする策動に、強い危機感を抱いた市民の有志で結成し、思想信条や宗教、党派を超えて結集し、憲法九条を守れと訴えて、2006年から10年余り活動を続けてきたこと。
- ②今年には日本国憲法施行70年に当たる。我が国は戦後70年余、この憲法によって平和に暮らし、経済的にも大きな発展を遂げてきた。そして国際的にも、この憲法の平和主義は世界の人々のなかに、一つのブランドとしての地位を築いたこと。
- ③戦争法＝安全保障関連法は違憲であり、戦争を始めてしまったら、退くことは困難。
- ④千葉県は先の大戦で「帝都」防衛の最先端としての役割を負わされ、多くの軍事施設も置かれた地域であり、いまでも多くの基地を抱え、米軍のオスプレイの整備拠点ともされようとしている。柏にはミサイル基地があるなど、戦争が始まれば県民、市民が戦争に巻き込まれる危険性は極めて高い地域である。
- ⑤それを許さないためには何としても野党が協力し合って来るべき県知事選挙及び総選挙で憲法改悪を阻止する勢力を伸ばしてほしい。

様々な重要な政治課題が目の前にあり、各党それぞれのお考えがあろうかと存じますが、九条をはじめとして明文改憲を許してしまえば、戦争への道が一層進み、共謀罪や緊急事態法などが取り沙汰されているように、雪崩を打って国民の権利が失われ、自由が奪われることになる。平和憲法を守りぬくために、野党の皆さんが知恵を絞って、協力し合える道を探り、候補者の調整を含めて統一して国民の期待に答えてほしいと要望しました。

市議会開会中の昼食休憩時間に全会派の部屋を回ったのでゆっくり話す時間はなかったので、それぞれのお考えか伺うことはできませんでしたが、要請はすることができました。

